

# 妙義山の奇岩

Fantastic rocks of Mt. Myogi

地球の窓探索コース



垂直な壁とローソクを並べたような妙義山

## 妙義山の奇岩

ローソクを並べたような岩と垂直な壁をもつ山、妙義山。まわりの山々は低く、妙義山だけがきわだって高くなっています。前方に見えている妙義山の山はだは、意外にゴツゴツしています。その原因は、この岩石が凝灰岩と安山岩の礫とからできていて、礫の部分が浸食にたえて出っばっているからです。また、天を突くような垂直の壁には、こきざみな割れ目をもつ、水平方向へのへこみが何本ありますが、これは輝石安山岩の溶岩の断面が見えているのです。



垂直の壁と水平方向に広がる溶岩



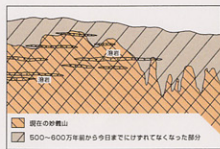
左の写真の溶岩の位置 (赤色で示す)

## どうしてローソクのように？

ローソクを立てたような地形になった原因は、じつは、よくわかっていません。しかし、北東の「さくら里」方面からながめると、ローソクの形には見えません。ローソクに見えていた岩は、南北方向に長く厚い板のようになっていることがわかり、南北方向に走る割れ目によって浸食されていったことが、原因の一つになっていることはたしかです。

妙義山の誕生は、今から600万年前の火山活動までさかのぼりますが、このときから今日までの長い時間が、妙義山の奇岩を創りだしたことになります。

整備された石門めぐりの登山道歩いて、ローソク岩の成因を考えてみましょう。



妙義山の昔と今



第四石門

## 空に突きだした妙義山

妙義山は背が高く、妙義山の東方は、いちじるしく低くなっています。この原因は、妙義山のまわりに、浸食されやすい堆積岩が分布しているからです。

## 荒船山の遠望

話は変わりますが、駐車場の奥(南)の方に移動して、西方の荒船山方面をながめてみましょう。荒船山が、文字通り、荒波に浮かぶ巨大な船のように見えています。



荒波に浮かぶ荒船、荒船山。写真の遠方右端の、山頂部の平らな山が荒船山です。

下仁田町 Shimonita-machi